

赤い公の弾圧をはね返し釜崎 メーデーに決起しよう

何く仲間のみならず
「メーデーは 全世界の労働者・被抑圧民族の団結と闘いの日だ」

五月一日はメーデーだ。アメリカやイギリス、ドイツなどでは労働者が資本家の権力を倒すために、アンチ・ヤブダ、アフリカなどでは帝国主義侵略者を打ち倒すために、中国やベトナム、カンボジアなどでは勝利した社会主義を守り抜くために、この日、全世界の幾千万、幾億、幾十億の労働者、人民大衆、被抑圧民族が、一斉に赤旗をひるがせ、社会主義のため、団結を求め、全世界をゆがらした。

「赤い公のメーデー弾圧をはね返そう」

我が国ではメーデーは、オ田八回を回し、釜崎では八回目を回す。

釜崎メーデーの歴史は、何く仲間が堅く団結し、機動隊やホリの妨害、暴行の総弾圧、三箇公園のメーデー集会、銀座通り、崎メーデーの赤旗を守り抜いた闘いの歴史だ。
大阪府警、西成署は、毎年メーデーには、機動隊を大量に釜崎に動員し、メーデーの集会、デモの前には、デモメーデーのさきをやらせ、必死となって弾圧してきた。全国を見わたると、この程までに、機動隊で弾圧するメーデーが、あちこちにある。

西成署の「あいらん地区」では、多数の「労働者」がい集る集会の意味すれば、集団不法集会（暴動の意味）に発

釜崎労働新聞

No.

1977年
4月29日

釜崎労働新聞

Whisk
649-6493

展するのでもむる口實で、二年前の夏祭り
 の際、祭りの井戸こひつぎを不許可にした。
 「釜ヶ崎労働者無法者」の世論工作を張
 りめぐらすことによつて、我々釜ヶ崎労働
 者の団結権を踏みにじる。一審権
 力の釜ヶ崎労働者に対する差別がある。釜
 ヶ崎メーデーに対し、警察権力は差別を
 露入限強化して、天皇の儀衛隊を釜ヶ崎
 に動員するので。

警察権力の差別を許さず、ホリ公の弾圧
 とはねかえし、断固メーデーと立つぞメー
 ーデーのこの決意こそ、釜ヶ崎メーデーを成
 功させる原動力也。

労働者の天下をつくる

これが、釜ヶ崎労働者組合(釜ヶ崎)の
 スローガンだ。労働者の天下をつくるた
 めには、全国の家で場、山谷や舞の仲間と
 団結しなければならぬ。くまの寄せ場
 の団結で、は、資本家の権力を倒し、労働
 者の天下をつくることには、なほ、労働
 産業の本工、中小企業の臨時工、社外工
 季節工、婦人労働者、我々日雇労働者、部
 落大衆、この様に、資本家によつて分断
 支配されている労働者、人民大衆が、一つ
 に大団結こそ、進めて、資本家を倒し、
 労働者の天下をつくることのできる。と
 「あが、労働組合の本部回廊である総評指
 導部は、長年、この団結を踏みにじり、釜
 ヶ崎労働者が中央メーデーに参加するのを

拒んできた。この様は、団結を踏みにじ
 り、労働者が労働者を差別し、分裂を促す
 やり方は、資本家の手段で。

我が釜ヶ崎は、総評指導部の長年におた
 る誤った差別と分断の歴史を反省し、
 今年の大阪城公園での中央メーデーには、
 釜ヶ崎労働者の堂々たる会場入場、デモの
 参加を、獲得しました。団結こそ、勝利の
 道也。

働く仲間のみならず

ホリ公の差別的弾圧を打ち破り、全国の
 寄せ場の仲間、全国の労働者と一緒に団結
 し、全世界の労働者、被抑圧民族と連帯し、
 メーデーに決起しよう。

一日 現在

